

(参考) 主な環境ラベル

ここでは、別表の推進品目において、表示されることの多い代表的な環境ラベルをまとめています。これら以外の環境ラベルや製品の環境情報は以下のサイトも参考になります。

- 環境ラベル等データベース（環境省） <http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>
- 「エコ商品ねっと（グリーン購入ネットワーク）」 <http://www.gpn.jp/>

ラベル	内 容
	<p>エコマーク</p> <p>○資源を再利用した商品や使用段階で環境への負荷が少ない商品など、(公財) 日本環境協会が認定した環境保全に役立つ商品に表示されているマークです。 (http://www.ecomark.jp/)</p> <p>○対象分野：紙類、文房具、日用品、衣料、照明器具、オフィス家具等</p>
 <p>グリーンマーク</p>	<p>グリーンマーク</p> <p>○古紙を利用した製品の使用拡大を通じて古紙の回収・利用促進を図るため、古紙を原料とした製品であることを識別できるように(公財) 古紙再生促進センターが制定したマークです。 (http://www.prpc.or.jp/menu03/cont09.html)</p> <p>○対象分野：紙類</p>
	<p>再生紙使用マーク</p> <p>○再生紙の利用を促進するため、3R活動推進フォーラムが定めたマークで、古紙配合率が表示されます。使用に際しては特に許認可の必要がない自主的なマークです。 (http://3r-forum.jp/paper.html)</p> <p>○対象分野：紙類、日用品(ティッシュペーパー)、印刷</p>
 <p>モバイル・リサイクル・ネットワーク 携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。</p>	<p>モバイル・リサイクル・ネットワーク</p> <p>○メーカー、ブランドに関係なく携帯電話、PHSの本体、充電器、電池を回収し再資源化する取り組みです。</p>
	<p>国際エネルギースタープログラム</p> <p>○国際エネルギースタープログラムは、経済産業省と米国・環境保護庁との相互承認のもとに実施されているOA機器の省エネルギー基準です。待機電力の基準を満たした省エネルギー型のOA機器に表示が認められています。 (http://www.energystar.go.jp/about.html)</p> <p>○対象分野：OA機器(コピー機、プリンタ、パソコン等)</p>
	<p>省エネ性マーク</p> <p>○2000年8月から「省エネラベリング制度」(JIS規格)が始まりました。この制度は、家電製品が国の省エネルギー基準をどの程度達成しているか、その達成率(%)をラベルに表示するもので、省エネ基準達成率が、100%以上の製品には緑色のマークが表示されています。 (http://www.eccj.or.jp/labeling/)</p> <p>○対象分野：家電製品、照明器具</p>

 	<p>燃費基準達成車ステッカー</p> <p>○省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）で定める燃費目標基準値以上の燃費の良い自動車に貼付するステッカーで、国土交通省が運営しています。 http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr10_000005.html</p> <p>○対象分野：自動車</p>
  	<p>低排出ガス車認定ステッカー</p> <p>○国土交通省が実施している自動車の排ガス低減性能に関する評価の結果、「低排出ガス車」として認定された車両に表示されるステッカーです。 http://www.mlit.go.jp/jidosha/lowgas/youryou/lowgas.htm</p> <p>○対象分野：自動車</p>
	<p>JOIFA(日本オフィス家具協会)統一マーク</p> <p>○一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) がグリーン購入法の普及と識別を目的として制定した統一マーク。マークは JOIFA 会員企業の製品でグリーン購入法に適合していることを示しています。 http://www.joifa.or.jp/</p> <p>○対象分野：オフィス家具</p>